

うずしおくん・
うずひめちゃんと
学ぼう！

じ ち き ほ ん じ ょ う れ い 鳴門市自治基本条例

自分たちのまちは 自分たちの手で
～主役はわたしたち～

いっしょに学ぼう！
“まちづくり”



登場人物紹介



鳴門市の市章

渦潮をイメージして
作られています。



鳴門市の花「ハマボウ」

7月頃、黄色い花が咲き
ます。市内のあちらこち
らで見ることができます。



鳴門市の木「モチノキ」

晩秋に果実が赤く熟し、
美しい色で楽しませて
くれます。

「なる」ちゃん



明るくて、しっかりものの女の子。
のどかな渡船が大好き！
風がそよぐれんこん畑やイモ畑の
風景もお気に入り。

「とし」くん



好奇心いっぱい元気な男の子。
鳴門の海で釣りをするのが
大好き！焼きイモも大好物。

1. まずは、わたしたちのまち「鳴門」を知ろう！

鳴門市は、徳島県の北東部にあるまちで、大鳴門橋で兵庫県の淡路島とつながっていることから、「四国の玄関口」ともいわれています。面積は135.66km²、人口は約56,000人（令和2年9月現在）です。



自然

・過潮

…直径が20mを超えることもあり、世界的にも珍しいとされているよ。

・海に山に、自然がいっぱい

…その恵みを生かして、農業や漁業、製塩業などの産業が発展してきたよ。

・コウノトリが選んだまち

…毎年ヒナが誕生しているよ。市の鳥として「コウノトリ」が選ばれたよ。

伝統工芸

・大谷焼

…日本一といわれる大きな焼き物もあるよ。

・塩

…約400年前から、技術が受け継がれているよ。



あたたかい人



・お接待

…四国八十八カ所めぐりの出発点として、昔からずっとお遍路さんをあたたかく迎えてきたよ。

・ドイツとの交流

…板東俘虜収容所のドイツ兵との心あたたまる交流に始まり、今でもリューネブルク市との交流が続いているよ。

♪ 鳴門には



自慢できることがいっぱい！

特産物

・おいしい食べ物がいっぱい！



なると金時



鳴門鯛



れんこん



梨



わかめ



鳴ちゅるうどん

楽しいイベント

・阿波おどり

…熱気あふれる夏の風物詩！県内で最も早く始まるよ。

・鳴門の花火

…規模は県下最大といわれているよ。

歴史・文化・スポーツ

・「第九」アジア初演の地

…1918年にアジアで初めて、ベートーヴェンの「第九」が全曲演奏されたよ。

・大塚国際美術館

…西洋名画を原寸大の陶板で展示しているよ。米津玄師さんの「Lemon」特大スペシャル陶板を制作してあるよ。

・Jリーグ「徳島ヴォルティス」のホームタウン

…プロスポーツチームが身近にあり、スポーツがさかんなまちだよ。



ワーク：話し合ってみよう！

・鳴門の良いところは、他にどんなところがあるかな？

2. どうすれば、ずっと暮らしやすいまちにできるかな？



わたしたちのまち鳴門には、自慢できることがこんなにたくさんあったんだね！



これからも魅力いっぱい、みんなが暮らしやすいまちであってほしいな。



そうだね。そうやって、みんなでまちをより良くしていこうと
取り組むことを、「まちづくり」っていうんだ。



「まち」を「つくる」…？なんだか難しそうだなあ。

だれもが幸せに安心して暮らしていくために、みんなが考えて取り組んでいること、それが「まちづくり」なんだ！ 難しいものではなく、身近なものなんだよ。



まちの主演は市長さんじゃないんだね！

「まちづくり」の主演は、ぼくたち市民！
一人ひとりが「主演」なんだ！

そう！自分たちのまちは、自分たちでつくるのよ！
それを「自治」っていうの。



ここで「市民」というのは、鳴門市で暮らす人だけじゃなくて、鳴門市で働く人、学ぶ人、会社やお店、団体も含むんだ。

実際に、みんなで力を合わせて、
いろいろなことに取り組んでいるんだよ。



市民

わたしたちの周りにある、身近な「まちづくり活動」を見てみましょう！



3. 身近にある「まちづくり活動」

災害から
身を守ろう



その1 ぼうさいくんれん 防災訓練

市内では、いざというときに備えて、自主防災会をはじめとした多くの団体が、避難訓練や炊き出し訓練などをおこなっています。



地震などの災害から身を守るためには、地域が一体となって取り組むことが大切です。

ワーク：やってみよう！

- ・いざというときに備えて、家族で話し合おう！
- ・地域の防災訓練に参加して、避難場所や避難方法を覚えよう！

※「自主防災会」とは？



災害による被害を防止したり少なくしたりするために、自主的に防災活動を行う地域の団体。

安全なまち
にしよう

その2 安全なまちづくり運動

市内では、安心・安全なまちにするために、地域の人々が学校周辺をパトロールしたり、通学路で登下校中の子どもたちを見守ったりしています。

また、交通事故をなくすため、多くの人たちが交通キャンペーンに参加し、注意を呼びかけています。



※「いかのおすし」って知ってる？

- 「いか」…いかない（知らない人について行かない）
- 「の」…のらない（知らない人の車に乗らない）
- 「お」…おおごえをだす
- 「す」…すぐにげる
- 「し」…しらせる（何かあったら大人に知らせる）

ワーク：確認してみよう！

- ・みんなは交通ルールを守れているかな？
- ・「いかのおすし」を忘れないように行動しよう！

ぼくたちが、安心・安全に暮らせるのは、地域の人が支えてくれているからだね。



美しいまち
にしよう

その3 かんきょう び か かつどう 環境美化活動・花いっぱい運動

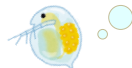


市内では、多くの人たちが、地域のなかで
いっせいせいそう
一斉清掃や花を植える活動を行っています。



また、地域や学校などで行われているEM菌きんを活用した水路すいろや河川かせんの水質浄化活動も、美しい
まちにするための大切な取り組みです。

※「EM菌」とは？



にゅうさんきん こうぼきん
乳酸菌や酵母菌など、人にも環境にもやさしい微生物たちのこと。ヘドロを分解して水をきれいにする効果があるよ。塩素や洗剤を使わない分、川や海が汚れないんだ。学校のプールを掃除する時にも使われているよ。



ワーク：やってみよう！

- ・町内の清掃やごみの分別に協力してみよう！
- ・資源ごみしげん(缶や古い新聞・雑誌など)の回収に協力して、リサイクルを心がけよう！



その他、こんなことも「まちづくり」なんだ！



お祭りなど、地域の
行事に参加する



伝統文化に触れる



まちの人や観光客に
親切にする



あいさつ運動
をする

わたしたちが普段取り組んでいることも、立派な「まちづくり」なんだね！

ワーク：考えてみよう！

- ・「まちづくり活動」には、他にどんなものがあるかな？
- ・自分たちでできる「まちづくり」には、どんなものがあるかな？



4. 「自治基本条例」ってなに？



わたしたちを含めて、多くの人々によって「まちづくり」が行われていることがわかったよ。

でも、たくさんの人でやるのって、難しそう…。



そうだね。

まちには、子どもから大人まで、いろいろな人が暮らしていて、その人たちがそれぞれ、「こんなまちにしたい！」とか、「こんな問題を解決したい！」という思いを持っている。そういった意見が、ときには分かれることもあるもんね。



ぼくたちのクラスでも、みんなの意見が分かれる時があるなあ。

そんな時は、「学級活動で話し合って決める」というルールがあるよ！



そう！みんなでなにかをするときには、話し合うことやルールが必要よね！それは「まちづくり」も同じ。暮らしやすいまちにするために、「まちづくり」についてのルールを決めたもの、それが「自治基本条例」なの！

自治 基本 条例

自分たちのまちは
自分たちでつくる

おおもととなる
大切なこと

そこで暮らす人々が
守らなければ
ならないルール

→ 自分たちのまちのことを自分たちで考えて決め、
つくっていくために、
みんなが守らなければならない大切なルール



5. どんなことが書かれているの？

「鳴門市自治基本条例」には、例えばどんなことが書かれているの？



まちづくりにおけるそれぞれの役割や、「市民が主役のまちづくり」を進めていくための大切な考え方などが書かれているよ。一部を見てみよう！

みんなでまちづくりを進めるための役割

市民

まちづくりの主役は
わたしたち！

それぞれが大切な役割を
持っているよ。



主役としての自覚を持ち、
みんなで力をあわせて、積極的に
まちづくり活動を進めます。

議会

(選挙で選ばれた市民の代表)



行政の仕事が正しく行われているか
チェックし、鳴門市としての考え方や、
これからのことを話し合い、決定します。

行政

(市長・市の職員)



市民が暮らしやすくなるように計画を
たてて仕事を進め、みんなのまちづくり
活動も応援します。

市民、議会、行政が
話し合い、意見を出し合い、
協力してまちづくりを行おう！

まちづくりを進める ときの3つのルール

市民・議会・行政は、この3つのルールを大切に
まちづくりを進めるよ。

1 参画

まちづくりについて意見を出
すことや、まちづくり活
動に加わること。

参加するだけでなく、
自分から進んで積極的に
関わることを「参画」と
言うのよ。

2 協働

みんなが同じ目的のために
協力しながらまちづくりを
すすめること。

協働するためには、よく話し
合って、お互いを理解して、
得意なことを生かしていく
ことが大切だよ。

3 情報共有

お互いの情報を交換して、
みんなが同じ情報を知って
いるようにすること。

まちづくりを一緒に進める
ためには、みんなが同じ
情報を知っている
ことが大事だよ。



ちなみに、鳴門市自治基本条例では、子どもたちも「まちづくり活動」ができるように、みんなで協力していくことを定めているんだ。



(子どもの権利)

第7条 市及び市民等は、子どもの権利等を尊重するとともに、まちづくりへの参画の機会確保に努めます。



わたしたちのことも書かれているなんて、なんだかうれしいなあ。

鳴門市の自治基本条例は、みんなの意見を大切にして作られたからね。みんなの思いが、ぎゅ〜っと込められているの。



鳴門市自治基本条例ができるまでには、およそ **1000人** もの人が関わりました。みんなの思いが込められた **市民手づくりの条例(ルール)** で、徳島県内では、鳴門市が初めてだったよ。

自治基本条例の「**前文**」※には、「市民が主役のまちづくりが実現するように」という思いが込められています。

※前文とは、条文の最初に書かれている文で、その条例ができた理由や、基本的な考え方などが書かれているよ。

鳴門市自治基本条例前文【一部抜粋】

私たち一人ひとりが、自らの役割や責務を自覚し、主体的に市政に参画するとともに、議会や行政の責務や特性を理解し、信頼し、また補完※しあいながら、それぞれの持つ力を発揮して、まちづくりを進めていくことが必要です。

ここに私たちは、鳴門市の自治のあり方を明らかにし、市民等が主役のまちづくりを実現するため、この条例を定めます。

※補完：互いに補いあうこと



鳴門市が自慢できることには、この「自治基本条例」もあるんだね！さっそく、今日帰ったら家族に話してみよう！！

レベルアップ！

「We Love なんとデー ～鳴門のためにできることをする日～」という取り組みがあるよ。鳴門のために、できることをできる範囲でやってみようという日だよ。みんなは、どんなことが思いつくかな？考えてみよう！

例えば、こんなことも鳴門のためになるよ！

- 公園や道路の清掃をする
 - リサイクルに協力する
 - 市内のイベントに参加する
 - 節電をこころがける
 - 自分たちのまちの歴史・文化などについて勉強する
 - 徳島ヴォルティスの応援をする
- (強くなれば全国からファンがやって来て、まちがにぎわうよ！)

わたしたちのまち「鳴門」を、もっともっとステキなまちにしていこうね！

We Love
なんと



うずしおくんうずひめちゃんと学ぼう！
鳴門市自治基本条例(平成23年3月制定)
〈発行〉

鳴門市 市民環境部 市民協働推進課

〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170

電話 ☎：088-684-1200

Eメール：shiminkyodo@city.naruto.i-tokushima.jp